

日本地衣学会

No.19

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	日本地衣学会 第2回大会・シンポジウムのご案内 / 大会準備委員長.....	63
	ニュース.....	65
	日本植物学会第67回大会(札幌)関連集会「日本地衣学会集会」のご案内 / 山本好和.....	65
	国際会議,シンポジウムの開催 / 岡本達哉.....	65
	雑記.....	65
	会誌Lichenologyにおける地衣類の産地情報記載方法について / 原田 浩.....	65

日本地衣学会 第2回大会・シンポジウムの御案内 JSL 2nd Annual Meeting and Symposium [Kyoto, 2003], 2nd Circular

大会準備委員会

日本地衣学会会員諸兄諸姉の皆様にはご健勝のことと拝察申し上げます。

さて、第2回大会を下記のように京都で開催することになりました。京都の夏の暑さは厳しいので有名ですが、奮ってご参加頂きますよう、お待ち申し上げます。

記

会場：京都大学農学部・総合館 W324 教室

京都市左京区北白川追分町

日程：

2003年8月2日(土)

10～12時 評議員会(会長,幹事)

13～15時 総会

15時30分～17時30分

シンポジウム

「中国雲南省の地衣類 多様性と生物地理」
(Lichens of Yunnan, China -Diversity and

Biogeography -)

1. 「中国雲南省における地衣類の多様性 (Diversity of Lichens in Yunnan)」 原田 浩・王 立松(千葉県立中央博物館・中国科学院昆明植物研究所)
2. 「中国雲南省のヨロイゴケ属地衣類(Sticta of Yunnan)」 高橋奏恵(広島大学大学院理学研究科)
3. 「Alectorioid Lichens from Yunnan, China (中国雲南省のホネキノリ属(広義)地衣類)」 王 立松(中国科学院昆明植物研究所)

18～20時 懇親会

8月3日(日)

10～12時 研究発表会

13～15時 研究発表会

8月4日(月)世話人:坂東 誠,高萩敏和

13～16時 青空地衣教室(京都 高雄～清滝)

講演申し込み方法:発表形式は,口頭(発表12

分・討論3分) , OHPです。

発表者と演題(所属明記, 演者) , 連絡者の氏名, 所属, 連絡先(住所, Tel, Fax, E-mail)を明記の上, Fax, E-mail または郵送にてお申込下さい。

講演要旨作成要領:

1 締め切りまでに下記体裁の要旨原稿を郵便にてお送り下さい。

2 発表までに英文の表題と 200 語程度の英文アブストラクトと, 表題, 発表者, 所属を含む 500 字以内の和文アブストラクトをお送り下さい。(英語版・日本語版HP用)

講演要旨体裁

紙面: A4 (1頁)

マージン左右各 30mm, 上下各 30mm

40 字 35 行 (1400 字) / 頁

表題, 発表者(所属), 本文の各間は空 1 行
図や写真, 表は貼り付けて下さい。

字体: 10.5 ポイント前後

講演申し込み締切: 6月16日(月)

講演要旨原稿締切: 7月15日(火)

参加費:

大会・シンポジウム: 会員(一般) 5,000 円, 会員(学生) 2,000 円, 非会員(一般) 7,000 円, 非会員(学生) 3,000 円,

懇親会・一般 5,000 円, 学生 3,000 円,

青空地衣教室・500 円

参加申し込み方法: 参加者氏名, 所属, 連絡先(住所, Tel, Fax, E-mail), 懇親会等参加の有無を明記の上, Fax, E-mail または郵送にてお申込下さい。

参加申し込み締切: 7月15日(火)

交通:

京阪電鉄出町柳駅から: 徒歩 15 分

JR 京都駅から: 市バス 17 系統で「京大農学部前」下車すぐ。同 206 系統で「百万遍」あるいは「飛鳥井町」下車徒歩 5 分。

阪急電鉄河原町駅から: 市バス 17 系統で「京大農学部前」下車すぐ。同 3 系統で「百万遍」下車徒歩 5 分
あるいは「田中樋ノ口町」下車すぐ。

* 詳しくは京都大学農学部ホームページ(http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/kais_jap/misc/j_ess.htm/)をご覧ください。

連絡先(申込書送付先):

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学農学研究科応用生命科学専攻 宮川 恒

Tel: 075-753-6118 Fax: 075-753-6123,

E-mail: miyagawa@kais.kyoto-u.ac.jp

第 2 回大会参加申込書

参加者氏名 _____ 所属 _____

連絡先 住所 〒 _____

電話: (_____) Fax: (_____) E-mail: (_____)

以下の項目の該当部分に 印をお願いします。

シンポジウム () 参加・() 不参加

懇親会 () 参加・() 不参加

研究発表 () 参加・() 不参加

青空地衣教室 () 参加・() 不参加

ニュース News and Announcements

日本植物学会第 67 回大会 (札幌) 関連集会「日本地衣学会集会」 のご案内

昨年同様、植物学会大会の関連集会として、「日本地衣学会集会」を開催する運びとなりましたので御案内いたします。

植物学会会員以外も参加できますので、参加希望者は山本（あるいは岡本・原田）までご連絡ください。

概要

- ・ 9月26日（金）夕方（およそ18時～20時）
- ・ 植物学会大会連絡責任者： 山本好和
- ・ 企画責任者： 岡本達哉・原田 浩
- ・ 集会の名称： 日本地衣学会集会
- ・ 内容： 「日本の地衣フロラ解明の現状と課題(仮題)」
話題提供 2 件と、ディスカッション。終了後、学会会合。

プログラム

- 18:00 あいさつ等
- 18:10-18:40 岡本達哉・原田 浩： 「日本の地衣フロラ解明の現状(仮題)」
- 18:40-19:10 安斉唯夫： 「都道府県別レッドデータブックにおける地衣類掲載状況について(仮題)」
「環境アセスメント現場からの声」
- 19:10-19:30 「今後の課題」, 「学会としての取り組みの可能性」などについて討論
- 19:30-20:00 その他, 学会会合

お申込, お問い合わせは:

山本好和 yyamamoto@akita-pu.ac.jp
あるいは岡本達哉 tokamoto@kochi-u.ac.jp
原田 浩 h.hrd3@mc.pref.chiba.jp
(山本好和)

国際会議, シンポジウムの開催

本年 10 月 4 日から 10 日にかけて, つくば市で「生物多様性情報構築に関する国際会議 (Joint International Forum on Biodiversity Information: Building Capacity in Asia and Oceania)」が開催される。会議の詳細と最新情報は以下の URL に掲載され, オンラインでの参加登録も行うことができる。

<http://www-gti.nies.go.jp/whats/index.html>

また, 日本地衣学会も加盟している日本分類学会連合では, この国際会議にあわせ, 10 月 7 日に「分類学と生物データベース」と題したシンポジウムを開催することとなり, 次の 5 題の講演が予定されている。

1. Building databases of Von Siebold collections: Digitization of biodiversity information in the dawn of natural history in Japan. Kyoichiro Ueda (Kitakyushu Museum of Natural History and Human History)
2. Entomology database KONCHU including various files relating to species information on Japanese, East Asian and the Pacific insects. Osamu Tadauchi (Kyushu University)
3. Marine mammal database of the National Science Museum: A tool providing interactive biological information. Tadasu Yamada (National Science Museum)
4. Progress report on Japanese fungi databases and Faurie's lichen collection database supported by the Japan Science and Technology Corporation. Yoshimichi Doi, Hiroyuki Kashiwadani and Keiichi Matsuura (National Science Museum)
5. Plant biodiversity databases supported by the Japan Science and Technology Corporation. Motomi Ito (The University of Tokyo)

(岡本達哉: 学術交流委員会)

雑記 Miscellanea

会誌 Lichenology における地衣類の産地情報記載方法について

地衣類の分布については, 調査できる人員が少ないために, 国内の分布情報は, 維管束植物に比べて格段と限られている。そのため, フロラや, 分布資料のような基礎的なデータの蓄積が地衣学にとっては, 今でも重要な課題の一つとなっている。そこで, 本会の会誌 Lichenology (昨年創刊) では, 国内の地衣類分布情報を積極的に掲載していく予定である。

さて, 掲載にあたっては, どのような形, 体裁で情報を提示するかが問題となる。まず, 産地の記載方法の標準化が必要であろう。これについては, 次のような方法を既に試行しているので紹介する(なお, カッコつきの数字は説明のために挿入した)。

例: ⁽¹⁾千葉県安房郡富山町: ⁽²⁾富山
(⁽³⁾ Chiba-ken, Awa-gun, Tomiyama-machi,
Tomi-san Hill) [⁽⁴⁾5239-57], ⁽⁵⁾標高 300 m, ⁽⁶⁾
スダジイ樹幹, ⁽⁷⁾Harada 20483

(⁸)CBM-FL-15892)。

(1)産地： 都道府県，(郡)市町村，字など

(2)地形などの地名： 山や島，川など

(3)地名ローマ字標記： 基本的には(1)(2)と同一の情報を示す。地名の配列は，大きな地名から順に(都道府県 市町村 字)。

(4)2次メッシュ： 国土庁や環境省など国の事業で標準的に使用される国土基本メッシュを使用する。ただし，全国的な分布図作成などを考慮すると3次メッシュ(いわゆる1kmメッシュ)は煩雑であり，実用的ではないので，およそ2万5千分の一地形図図幅に対応する2次メッシュを採用した。これについて注意すべき点は，従来の日本の地形図の緯度経度は，世界標準から数百メートルずれていることである。将来的には国際標準に統一されるであろうことは想像に難くない。その試みとして国土地理院では，インターネット上で国際標準の緯度経度に基づく地形図を試験的に公開している(<http://mapbrowse.gsi.go.jp/>) (このページは地衣学会のホームページのリンク集にも掲載されている)。そこでは，2万5千分の一地形図を縦横それぞれ2等分した範囲(つまり4つに分けている)を見ることができる(地図上の地点にカーソルを置きクリックすると，緯度経度も表示される。例えば上記例の富山の山頂をクリックすると，北緯35度5分43秒，東経139度52分57秒)。ページ一番上には7桁の数字がでている(上の例では：5239571)。そのうちの，上から6桁(この例では：523957)が2次メッシュに対応しているので，途中に横棒をさしはさんで[4桁-2桁](この例では：5239-57)と示せばよい。最初の4桁は20万分の一地形図図幅に相当(第1次地域区画)，後ろの2桁が2万5千分の一地形図図幅に相当する(第2次地域区画)。

(5)標高： 地形図やGPSから読み取った標高を記載する。[300-800m]というような書き方は避ける。分布

データ(特に垂直分布)を取りまとめるとき，100mごとに集計する予定なので，扱いに困るからである。採集時に，なるべくこまめに標高を記載するよう心がける必要がある。

(6)生育基物： その種類の重要な特徴の一つとなるので，解る範囲内で記載する。樹木上の場合，可能なら樹種を(わからなければ落葉広葉樹，常緑針葉樹などでも)，幹，根元，枝，小枝，葉の別も。岩の場合は，石灰岩や蛇紋岩など特殊な岩石は，その種類も。また，小石，転石，露頭，崖などの記載も有効である。

(7)採集者名と採集者番号： 採集者番号は標本を特定するのにきわめて有効。もし，まだ採用されていない方はこの機会に始めていただきたい。いまさら通し番号は難しいという方には，年号(+日付)を利用する方法もある。例えば2003年の132番目の標本をHarada 03-132というようにしたり，2003年5月6日の15番目に採集した標本ならHarada 03050615というようにしたり，工夫すればよい。ただし，あまり桁数が大きくなると取り扱いに困るので，ほどほどに。

(8)収蔵標本庫と登録番号： Lichenologyに論文等を掲載するに当たっては，標本の保管が確実な公共機関への所蔵をお願いしている。その標本庫(この場合には千葉県立中央博物館：略号CBM)に登録番号がある場合には，それも合わせて記載する。

これらは単にLichenologyの掲載のため，というよりは，地衣類の標本ラベルデータの記載の問題でもある。地衣類を採集し，標本を作る場合には十分配慮していただきたい。ただし，最終的なLichenologyでの掲載に当たっては，誌面節約のため，編集委員会の判断により多少とも簡略化させていただくこともあるので，予めご了承のほどを。(原田 浩：編集委員長)

Lichenology 日本地衣学会ニュースレター
とも，投稿先は：

原田 浩。〒260-8682千葉県中央区青葉町955-2
千葉県立中央博物館。Fax 043-266-2481。
E-mail: h.hrd3@mc.pref.chiba.jp

(原田浩：編集委員長)

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は，許諾を受けてください。詳細は本誌13号46ページに。

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication,

©2003 日本地衣学会 (©2003 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。

you or your organization must obtain permission. For details, see no. 13, p. 46 of this publication.

日本地衣学会ニュースレター 19号

発行日：2003年6月5日

編集： 原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄
発行者・発行所：日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内